

平成29年度入園式・入学式



名前を呼ばれて元気にお返事

4月1日にこども園ひがしどおり入園式、4月7日には東通小学校入学式、東通中学校入学式が挙行され、125名の園児・児童・生徒が新たなスタートを切りました。

こども園ひがしどおり（坂崎隆浩園長）には、36名の子ども達が入園。保護者をはじめ、村関係者や地域のみなさんが出席し、子ども達の新たな門出を祝いました。

新入園児は一人一人名前を呼ばれ、マイクを向けられると元気に返事をしていました。

その後、新入園児たちは年長の園児からの、合唱やお祝いの言葉で歓迎を受けました。



パパ・ママと手をつないでに式に参加

東通小学校には新たに49名が入学しました。新入生入場が始まると、新入生は緊張した様子でしたが、しっかりとした足取りで、自分の席へと向かって歩いていました。

式では、越善靖夫村長が式辞を述べ、新入生に対し「これから皆さんは、多くの自分が好きな人や苦手な人に出会いますが、自分なりの考えを持って積極的に友達や先生方と関わり合い、人間性を育んで欲しい」と応援の言葉を送りました。

新入生の皆さんには、授業や課外活動を通して、健やかに成長してほしいと思います。



気を引き締めて式に臨む新中学生

東通中学校の入学式では、40名が新たに中学生となりました。新入生は担任が自分の名前を呼ぶと、凛とした大きな声で返事をしていました。

新入生に対し大槻顕進生徒会長は「中学校生活では定期考査や部活動での大会等、大変な行事も多く、体育祭や文化祭では自分達が主体となり行動しますが、皆で力を合わせて充実した中学校生活にしましょう」と、小学校時代との違いを述べると同時に、新入生への激励を行いました。激励の言葉を聞いた新入生は、中学校生活への期待に胸を膨らませていました。



誓いの言葉を述べる相内ゆうさん



新しい学校に緊張気味の新小学生



式辞を述べる越善村長